

## 地域公共交通計画策定に向けた進め方について

### 地域公共交通計画策定の背景

当市では、公共交通のマスタープランとして「新発田市地域公共交通総合連携計画（計画期間：平成21年度～平成27年度）」、「新発田市地域公共交通網形成計画（計画期間：平成28年度～令和5年度）」を策定し、公共交通ネットワークの整備や利用促進に取り組んできました。

高齢化の進行等により公共交通の重要性はますます高まっていますが、人口減少に伴う利用者数の減少、運転手不足の深刻化等により、公共交通の維持・確保はこれまで以上に厳しい状況になると想定されます。

そんな中、令和2年11月に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が一部改正され、地域公共団体による「地域公共交通計画」の作成が努力義務化されました。

また、新たな仕組みとして、計画制度と国庫補助制度が連動化され、補助事業を活用するためには「地域公共交通計画」において、補助の必要性や定量的な目標等について記載することが必要となりました。

従来の公共交通サービスに加え、地域の多様な輸送資源（福祉輸送、スクールバス等）も計画に位置付け、地域の輸送資源の総動員により移動手段を確保していくことが求められているほか、MaaS、AIによる配車などの新技術を活用して、幅広い利用者にとって使いやすく、持続可能な公共交通を構築することが求められます。

以上を踏まえ、現行の「新発田市地域公共交通網形成計画」に代わり、新たなマスタープランとなる「新発田市地域公共交通計画」を2か年で策定を進めいきます。

### 計画策定の方針等

#### 1 基本的な策定方針について

- 計画の骨子は、現行「新発田市地域公共交通網形成計画」を踏襲しつつ、新たな推進方針の追加、現状分析や調査等を踏まえた目標等を定める。
- 現行計画の策定以降に公表し、現在、地域への早期展開の軸軸としている「新発田版デマンド方式」等についてや、地域との協働性や役割分担、新たに方針とした「運行継続基準」を織り込む。
- 国が求める輸送資源の総活用を念頭とし、持続可能とする更なる輸送資源や新技術の活用、ネットワークの確保・充実の方向性等を追加する。

#### 2 現状分析・課題整理について

- 国勢調査、経済センサス等の最新データにより、生活動向や運行拡大エリア等の分析を実施する。
- 急速に進行する高齢化、利用者減少、運転手不足等の新課題等を織り込む。
- 住民基本台帳データ（一部）を活用した人口や居住密度の分析やアンケート調査を実施する。

#### 3 目標と指標等の設定について

- 行政、地域公共交通協議会、交通事業者、地域の関係者等が共通認識を持って取組を推進できるように、現行計画からの見直しを行い、可能な限り具体的かつ明確な目標の設定をする。
- PDC Aサイクルを強化し、実効性・実現性を高めていくため、客観的・定量的な指標の設定と見直しを実施する。

### 章構成及び策定スケジュール（案）

章構成（案）	R4年度		R5年度		●：協議事項
	協議会① R4/12/21	協議会② R5/3月頃	協議会③ R5/8月頃	協議会④ R5/12月頃	
<b>第1章 はじめに</b> …計画策定の背景と目的、位置付け、計画区域、計画期間	●				パブコメ結果等を含めた 修正案について協議
<b>第2章 地域および公共交通の現状</b> …社会状況、公共交通の現状（アンケート結果等からニーズを把握）	● 調査方針の協議	● 調査結果の報告			
<b>第3章 新発田市地域公共交通網形成計画の評価</b> …数値指標の達成状況、施策の実施状況		●			
<b>第4章 公共交通の課題</b> …第2章、第3章を踏まえた課題整理		●			
<b>第5章 基本的な方針</b> …目指すべき将来像、各交通手段の役割、取組の方向性を明確化		●	○ 適宜修正		
<b>第6章 計画の目標</b> …目標、数値指標の設定		●			
<b>第7章 目標達成のための施策・事業</b> …具体的な施策・事業を体系的に整理			●		
<b>第8章 計画の達成状況の評価</b> …計画の評価・見直しのスケジュール、方法、体制の整理			●		

R5/10月頃  
パブリックコメント

R5年度中  
に成案

### アンケート等の実施方針

計画策定において、地域公共交通の課題整理や施策検討に活用するため、以下を実施する。

- (1) 住民意向調査 (2) 高校生意向調査 (3) 関係者ヒアリング

項目	(1) 住民アンケート調査	(2) 高校生アンケート調査
目的	移動実態や公共交通の利用状況、改善要望等を把握し、課題整理や施策検討に活用。	
対象	市内在住の20歳以上80歳未満	市内に立地する高校（6校）の第2学年全員
配布/回収	郵送配布/郵送回収	学校を通じての配布、回収
配布数	約3,800部 ※住民基本台帳を基に抽出。 ※地区別の移動実態等を把握するため、地区別に必要票数を算出して配布数を設定。	約1,200部

項目	(3) 関係者ヒアリング
目的	公共交通事業者の実状や今後の公共交通の維持等に対する意向等を把握し、施策検討に活用。
対象	鉄道、バス事業者、タクシー事業者、NPO法人
ヒアリング項目（案）	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者から寄せられる要望</li> <li>公共交通の利便性向上に関する課題（ルート、時間帯、バリアフリー、キャッシュレス等）</li> <li>公共交通事業の維持に関する課題（補助、新たな枠組みの導入、車両更新、人手不足等）</li> <li>地域の輸送資源の総動員など、公共交通の運行に関するアイデア</li> <li>市に期待すること</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

(案)

# 住民(20~80代)アンケート調査票

## 問1 あなたご自身について、教えてください。

住所 ※封筒の宛て先に記載があります	郵便番号 〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
年齢	<input type="text"/> 歳
性別 (1つに○)	①女性      ②男性      ③回答しない
職業等 (1つに○)	①会社員・公務員・団体職員      ②自営業・農業 ③アルバイト・パート      ④家事労働 ⑤無職      ⑥その他 (_____)
運転免許 (自動車/バイク) (1つに○)	①あり      ②なし      ③返納済み
乗り物の所有 (いくつでも○)	①自家用車      ②バイク      ③自転車      ④なし
送迎の有無 (1つに○)	①普段、家族等を送迎している ②普段、家族等に送迎してもらっている ③送迎はしていない/されていない

## 自宅から最も近い公共交通ののりば(バス停)まで、歩いて何分かかりますか。(1つに○)

①歩いて <input type="text"/> 分      ②歩いて行ける範囲にのりばがない      ③分からない
---

## 問2 最近1か月の外出状況について、教えてください。

### 問2-1 「買い物」での外出状況を教えてください。

外出頻度 (1つに○)	①ほぼ毎日      ②週に4、5日程度      ③週に2、3日程度 ④週に1日程度      ⑤月に2、3日程度      ⑥月に1日程度 ⑦「買い物」で外出しなかった →⑦を選んだ方は 問2-2 へ		
よく行く方面 (1つに○) ※依頼文うら面の 地図をご覧ください	市内 { ①中心市街地      ②西新発田駅周辺      ③新栄町・舟入町など ④中曽根町・城北町・緑町など      ⑤駅東側市街地 ⑥周辺地区 (_____ 地区) 市外 { ⑦新潟市      ⑧胎内市      ⑨その他市町村 (_____)		
よく行く目的地	施設名等: _____		
移動手段 (2つまで○)	①自家用車(自分で運転)      ②バイク      ③自転車      ④徒歩 ⑤家族等の送迎      ⑥鉄道      ⑦バス      ⑧乗合ワゴン ⑨タクシー      ⑩その他 (_____)		
出発時間帯	時頃	帰宅時間帯	時頃

問 2-2 「通院」での外出状況を教えてください。

外出頻度 (1つに○)	①ほぼ毎日                      ②週に4、5日程度                      ③週に2、3日程度 ④週に1日程度                      ⑤月に2、3日程度                      ⑥月に1日程度 ⑦「通院」で外出しなかった →⑦を選んだ方は 問 2-3 へ		
よく行く方面 (1つに○) ※依頼文うら面の 地図をご覧ください	市内	①中心市街地                      ②西新発田駅周辺                      ③新栄町・舟入町など ④中曽根町・城北町・緑町など                      ⑤駅東側市街地 ⑥周辺地区 ( _____ 地区)	
	市外	⑦新潟市                      ⑧胎内市                      ⑨その他市町村 ( _____ )	
よく行く目的地	施設名等: _____		
移動手段 (2つまで○)	①自家用車(自分で運転)    ②バイク                      ③自転車                      ④徒歩 ⑤家族等の送迎                      ⑥鉄道                      ⑦バス                      ⑧乗合ワゴン ⑨タクシー                      ⑩その他 ( _____ )		
出発時間帯	時頃	帰宅時間帯	時頃

問 2-3 「買い物」、「通院」以外で最も多い外出目的での外出状況を教えてください。

「買い物」「通院」以外で 最も多い外出目的 (1つに○)	①通勤    ②レジャー    ③趣味・習い事    ④食事    ⑤その他 ⑥外出しなかった →⑥を選んだ方は 問 3 へ			
外出頻度 (1つに○)	①ほぼ毎日                      ②週に4、5日程度                      ③週に2、3日程度 ④週に1日程度                      ⑤月に2、3日程度                      ⑥月に1日程度			
よく行く方面 (1つに○) ※依頼文うら面の 地図をご覧ください	市内	①中心市街地                      ②西新発田駅周辺    ③新栄町・舟入町など ④中曽根町・城北町・緑町など                      ⑤駅東側市街地 ⑥周辺地区 ( _____ 地区)		
	市外	⑦新潟市                      ⑧胎内市                      ⑨その他市町村 ( _____ )		
よく行く目的地	①勤務先                      ②施設名等: _____			
移動手段 (2つまで○)	①自家用車(自分で運転)    ②バイク                      ③自転車                      ④徒歩 ⑤家族等の送迎                      ⑥鉄道                      ⑦バス                      ⑧乗合ワゴン ⑨タクシー                      ⑩その他 ( _____ )			
出発時間帯	時頃	帰宅時間帯	時頃	

問 3 バス・乗合ワゴンの利用状況について、教えてください。

問 3-1 お住まいの地区で運行しているバス・乗合ワゴンを知っていますか。(1つに○)

- ①運行内容(利用方法、ルート、運行時刻)を知っている
- ②運行内容までは知らないが、運行していることは知っている
- ③運行しているか分からない(知らない)
- ④住んでいる地区ではバス・乗合ワゴンが運行していない

問 3-2 最近 1 年間の、バス・乗合ワゴンの利用頻度はどのくらいですか。(1 つに○)

- ①ほぼ毎日                      ②週に 4、5 日程度                      ③週に 2、3 日程度  
④週に 1 日程度                      ⑤月に 2、3 日程度                      ⑥月に 1 日より少ない  
⑦利用していない →⑦を選んだ方は 問 3-4 へ

問 3-3 最近 1 年間で、最も多く利用したバス・乗合ワゴンはどれですか。(1 つに○)

- ①あやめバス  
②コミュニティバス・乗合ワゴン (利用地区に○: 菅谷・加治地区 川東地区 松浦地区 豊浦地区 )  
③新潟交通路線バス (利用路線に○: 木崎線 赤谷六軒町線 藤塚浜・金竜橋線 飯島線 )  
④月岡温泉シャトルバス  
⑤その他 →この問に回答した方は 問 3-5 へ

問 3-4 バス・乗合ワゴンを利用しない理由は何ですか。(3 つまで○)

- ①鉄道、自転車、徒歩などで移動できるから    ②家族等が送迎してくれるから  
③利用したい時間に便がない                      ④自宅からバス停が遠い  
⑤運行時刻やルートが分からない                      ⑥乗り方が分からない  
⑦運賃が高い    ⑧乗り換えが面倒  
⑨バス等を待つ環境が良くない                      ⑩時刻表どおりに運行しないことがあるから  
⑪その他 ( )

問 3-5 今後、バス・乗合ワゴンを日常的に利用する可能性はありますか。(1 つに○)

- ①すでに利用している                                      ②1 年以内には利用する可能性がある  
③5 年以内には利用する可能性がある                      ④10 年以内には利用する可能性がある  
⑤日常的に利用するなら 10 年以上先だと思う                      ⑥日常的に利用することはないと思う

問 4 バス・乗合ワゴンの運行についてどう思うか、教えてください。

問 4-1 バス・乗合ワゴンの運行に係る市の財政負担は年間約 1.6 億円\*で、市民 1 人当たりの負担は年間約 1,700 円となっていますが、これについてどのように思いますか。(1 つに○) ※令和 3 年度

- ①適切な範囲だと思う                                      ②多すぎると思う                                      ③少ないと思う

問 4-2 バス・乗合ワゴンの運行状況について、今後どのようにしていきべきだと思いますか。(1 つに○)

- ①現状を維持していく  
②現状よりも充実を検討する (財政負担が増加する)  
③現状よりも縮小する (財政負担が減少する)

問 4-3 バス・乗合ワゴンを運行する財源を確保するため、利用料金 (運賃) を値上げしても良いと思いますか。(1 つに○)

- ①値上げは必要ないと思う                                      ②値上げを検討しても良いと思う

【参考】

コミュニティバス・乗合ワゴンの運賃は 100~300 円です。

**問 4-4** 近年、乗合ワゴンなどには予約制の運行を取り入れています。利用する際の事前予約制について、どう感じますか。(感覚を 10 段階の番号に○)

(予約制で良い) 1 2 3 4 (5 普通) 6 7 8 9 10 (面倒である)

**問 4-5** 国は、自動運転やスローモビリティなどの新技術の導入を推進しています。将来の本市の公共交通として検討することについて、どのように思いますか。

■自動運転車(運転手が乗らない自動運転) (1つに○)

①検討しても良い ②しばらく検討は必要ない ③分からない

↳ 具体的な地域があれば      ↳ 理由: 例) 安全性に不安があるからなど

【導入の効果】  
・ 人件費の削減

■スローモビリティ(定員6人程度でゆっくり走るゴルフカートのような車) (1つに○)

①検討しても良い ②しばらく検討は必要ない ③分からない

↳ 具体的な地域があれば      ↳ 理由: 例) 冬場の運行が心配など

【導入の効果】  
・ 狭い道で運行可能  
・ CO<sub>2</sub>排出量の削減

**問 5** バス・乗合ワゴンの改善要望について、教えてください。

新発田市内を運行するバス・乗合ワゴンについて、あなた自身の利用を増やすために効果的だと思うものや、検討してほしいことを選んでください。(最大3つまで○)

- ①時刻表やルート図を分かりやすくする (情報発信を増やす)
- ②のりば (バス停) を増やす
- ③運賃を値下げする
- ④運行便数を増やす
- ⑤始発便の時刻を早くする (何時頃 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分、どこ \_\_\_\_\_ 着)
- ⑥最終便の時刻を遅くする (何時頃 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分、どこ \_\_\_\_\_ 発)
- ⑦乗り継ぎをなくす
- ⑧土曜日や日曜日にも運行する
- ⑨キャッシュレスシステムを充実する
- ⑩新しくきれいなバスやワゴン車両にする
- ⑪待っているときの快適性を高めるため、待合小屋やベンチの設置を充実する
- ⑫バスなどがどこにいるのか分かる位置情報システムを充実する
- ⑬その他 ( \_\_\_\_\_ )

**問 6** その他、新発田市の公共交通に関してご意見があれば、自由にご記入ください。

\*\*\* ご協力ありがとうございました \*\*\*

同封の封筒に入れて、**1月27日(金)**までにポストに投函してください。

(案)

# 高校生アンケート調査票

問1 あなたご自身について、教えてください。

住所	郵便番号 〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	※郵便番号が不明な方は、住所を記入してください（町まで）。 【記入例】新発田市中央町、新発田市乙次、新潟市北区朝日町 など 住所（ <input type="text"/> ）
性別（1つに○）	①女性      ②男性      ③回答しない

自宅から最も近い公共交通ののりば(バス停)まで、歩いて何分かかりますか。(1つに○)

①歩いて <input type="text"/> 分      ②歩いて行ける範囲にのりばがない      ③分からない
---

問2 通学での移動状況について、教えてください。

問2-1 晴れた日の通学について教えてください。

登校	移動手段 (2つまで○)	①自転車      ②徒歩      ③家族等の送迎 ④鉄道      ⑤バス・乗合ワゴン      ⑥その他( <input type="text"/> )	
	自宅を出る時刻	時      分頃	学校に着く時刻

下校	移動手段 (2つまで○)	①自転車      ②徒歩      ③家族等の送迎 ④鉄道      ⑤バス・乗合ワゴン      ⑥その他( <input type="text"/> )	
	学校を出る時刻	時      分頃	自宅に着く時刻

問2-2 雨・雪の日の通学について教えてください。

登校	移動手段 (2つまで○)	①自転車      ②徒歩      ③家族等の送迎 ④鉄道      ⑤バス・乗合ワゴン      ⑥その他( <input type="text"/> )	
	自宅を出る時刻	時      分頃	学校に着く時刻

下校	移動手段 (2つまで○)	①自転車      ②徒歩      ③家族等の送迎 ④鉄道      ⑤バス・乗合ワゴン      ⑥その他( <input type="text"/> )	
	学校を出る時刻	時      分頃	自宅に着く時刻

**問 2-3** 移動手段で、⑤バス・乗合ワゴン以外を選んだ方にお聞きします。通学でバス・乗合ワゴンを利用しないときの理由は何ですか。(最大3つまで○)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| ①鉄道、自転車、徒歩などで通学できるから | ②家族等が送迎してくれるから       |
| ③利用したい時間に便がない        | ④自宅からバス停が遠い          |
| ⑤運行時刻やルートが分からない      | ⑥乗り方が分からない           |
| ⑦運賃が高い               | ⑧乗り換えが面倒             |
| ⑨バス等を待つ環境が良くない       | ⑩時刻表どおりに運行しないことがあるから |
| ⑪その他 ( _____ )       |                      |

**問 2-4** 取り組んでいる課外活動等に○をつけてください。(いくつでも○)

また、主に活動する曜日、おおよその帰宅時刻などを教えてください。

①部活動・生徒会	主に活動する曜日	月 火 水 木 金 土 日
	おおよその帰宅時刻	時 分頃
	帰宅時の移動手段 (2つまで○)	①自転車 ②徒歩 ③家族等の送迎 ④鉄道 ⑤バス・乗合ワゴン ⑥その他 ( _____ )
②塾・予備校	主に活動する曜日	月 火 水 木 金 土 日
	おおよその帰宅時刻	時 分頃
	帰宅時の移動手段 (2つまで○)	①自転車 ②徒歩 ③家族等の送迎 ④鉄道 ⑤バス・乗合ワゴン ⑥その他 ( _____ )
③その他 ( _____ )	よく活動する曜日	月 火 水 木 金 土 日
	おおよその帰宅時刻	時 分頃
	帰宅時の移動手段 (2つまで○)	①自転車 ②徒歩 ③家族等の送迎 ④鉄道 ⑤バス・乗合ワゴン ⑥その他 ( _____ )
④特にない		

### 問3 バス・乗合ワゴンの利用状況について、教えてください。

問3-1 お住まいの地区で運行しているバス・乗合ワゴンを知っていますか。(1つに○)

- ①運行内容（利用方法、ルート、運行時刻）を知っている
- ②運行内容までは知らないが、運行していることは知っている
- ③運行しているか分からない（知らない）
- ④住んでいる地区ではバス・乗合ワゴンが運行していない

問3-2 最近1年間の、バス・乗合ワゴンの利用頻度はどのくらいですか。(1つに○)

- ①ほぼ毎日
- ②週に4、5日程度
- ③週に2、3日程度
- ④週に1日程度
- ⑤月に2、3日程度
- ⑥月に1日より少ない
- ⑦利用していない →⑦を選んだ方は 問4-1 へ

問3-3 最近1年間で、最も多く利用したバス・乗合ワゴンはどれですか。(1つに○)

- ①あやめバス
- ②コミュニティバス・乗合ワゴン  
(利用地区に○： 菅谷・加治地区  川東地区  松浦地区  豊浦地区 )
- ③新潟交通路線バス  
(利用路線に○： 木崎線  赤谷六軒町線  藤塚浜・金竜橋線  飯島線 )
- ④月岡温泉シャトルバス
- ⑤その他

### 問4 バス・乗合ワゴンの運行についてどう思うか、教えてください。

問4-1 バス・乗合ワゴンの運行に係る市の財政負担は年間約1.6億円\*で、市民1人当たりの負担は年間約1,700円となっていますが、これについてどのように思いますか。(1つに○)

※令和3年度

- ①適切な範囲だと思う
- ②多すぎると思う
- ③少ないと思う

問4-2 バス・乗合ワゴンの運行状況について、今後どのようにしていきべきだと思いますか。(1つに○)

- ①現状を維持していく
- ②現状よりも充実を検討する（財政負担が増加する）
- ③現状よりも縮小する（財政負担が減少する）

問4-3 バス・乗合ワゴンを運行する財源を確保するため、利用料金(運賃)を値上げしても良いと思いますか。(1つに○)

- ①値上げは必要ないと思う
- ②値上げを検討しても良いと思う

【参考】

コミュニティバス・乗合ワゴンの運賃は100～300円です。



**問 4-4** 近年、乗合ワゴンなどには予約制の運行を取り入れています。利用する際の事前予約制について、どう感じますか。(感覚を10段階の番号に○)

(予約制で良い) 1 2 3 4 (5 普通) 6 7 8 9 10 (面倒である)

**問 4-5** 国は、自動運転やスローモビリティなどの新技術の導入を推進しています。将来の本市の公共交通として検討することについて、どのように思いますか。

**■ 自動運転車(運転手が乗らない自動運転) (1つに○)**

①検討しても良い ②しばらく検討は必要ない ③分からない

↳ 具体的な地域があれば

↳ 理由: 例) 安全性に不安があるからなど

**【導入の効果】**  
・ 人件費の削減

**■ スローモビリティ(定員6人程度でゆっくり走るゴルフカートのような車) (1つに○)**

①検討しても良い ②しばらく検討は必要ない ③分からない

↳ 具体的な地域があれば

↳ 理由: 例) 冬場の運行が心配など

**【導入の効果】**  
・ 狭い道で運行可能  
・ CO<sub>2</sub>排出量の削減

**問 5 バス・乗合ワゴンの改善要望について、教えてください。**

新発田市内を運行するバス・乗合ワゴンについて、あなた自身の利用を増やすために効果的だと思うものや、検討してほしいことを選んでください。(最大3つまで○)

- ①時刻表やルート図を分かりやすくする (情報発信を増やす)
- ②のりば (バス停) を増やす
- ③運賃を値下げする
- ④運行便数を増やす
- ⑤始発便の時刻を早くする (何時頃 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分、どこ \_\_\_\_\_ 着)
- ⑥最終便の時刻を遅くする (何時頃 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分、どこ \_\_\_\_\_ 発)
- ⑦乗り継ぎをなくす
- ⑧土曜日や日曜日にも運行する
- ⑨キャッシュレスシステムを充実する
- ⑩新しくきれいなバスやワゴン車両にする
- ⑪待っているときの快適性を高めるため、待合小屋やベンチの設置を充実する
- ⑫バスなどがどこにいるのか分かる位置情報システムを充実する
- ⑬その他 ( \_\_\_\_\_ )

**問 6 その他、新発田市の公共交通に関してご意見があれば、自由にご記入ください。**

\*\*\*ご協力ありがとうございました\*\*\*

# 1. 新発田市の現状整理

## 1.1 社会状況

### (1) 人口の推移

本市の人口は平成7年から減少に転じ、令和2年の国勢調査では94,927人となっています。人口減少は今後も進行することが予想され、令和27年には約74,000人まで減少すると推計されています。また、高齢化も進行しており、令和2年の高齢化率は32.3%で、人口の3割以上が65歳以上となっています。

人口減少や高齢化は地区によって進行状況に差があり、中心部から離れた地区において顕著です。

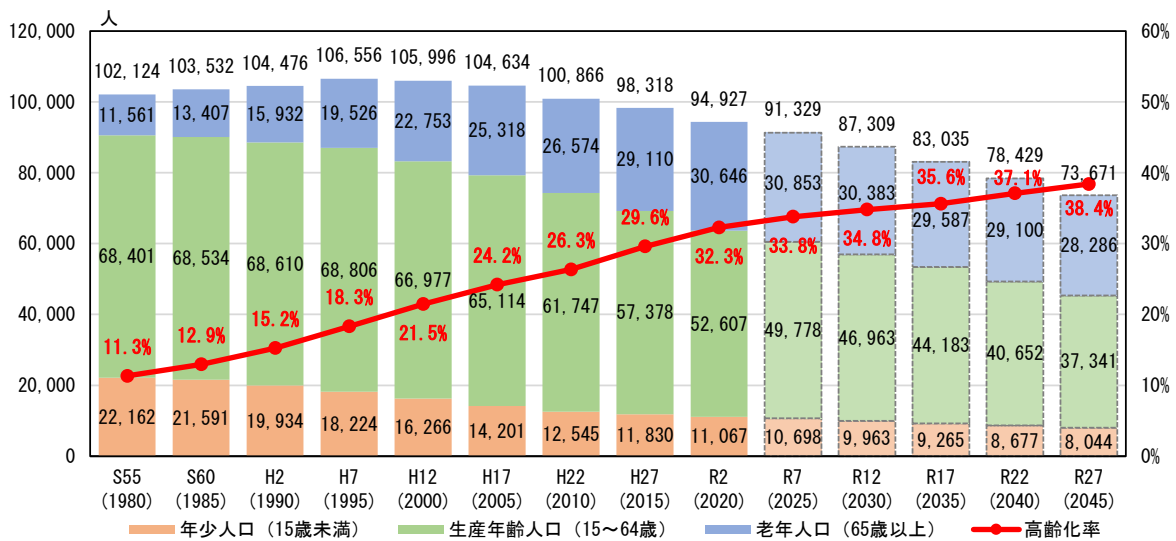


図 人口の推移

出典：国勢調査（令和2年まで）※年齢不詳を除く  
 国立社会保障・人口問題研究所（令和7年以降）※平成27年国勢調査に基づく推計

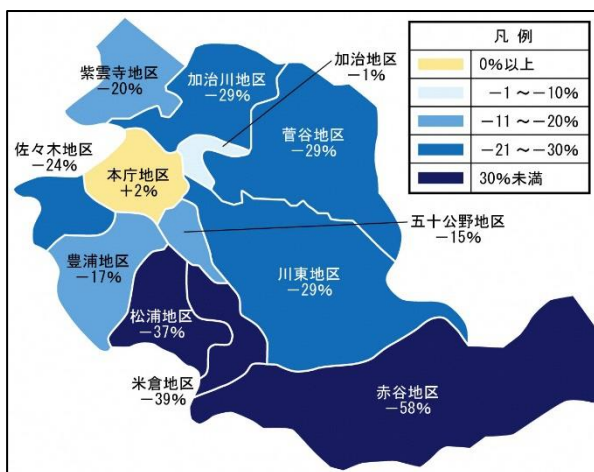


図 地区別人口増減率【H7→R2】

出典：国勢調査

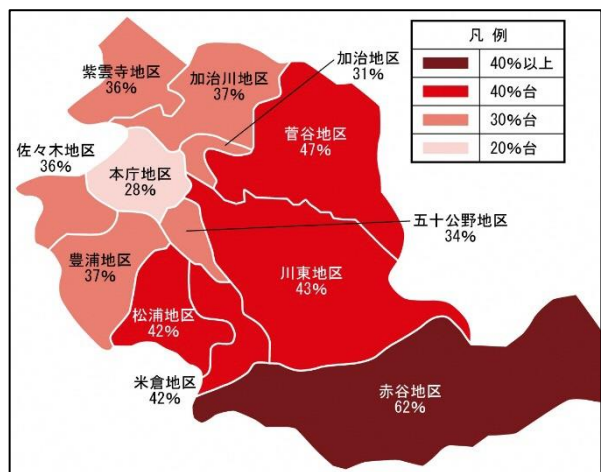


図 地区別高齢化率

出典：国勢調査（令和2年）

## (1) 人口の分布

人口は本庄地区に集中しており、郊外部には集落が広く分布しています。

概ね人口分布に沿って路線バスやコミュニティバスが運行していますが、バス停留所や鉄道駅が付近にない地域もあります。

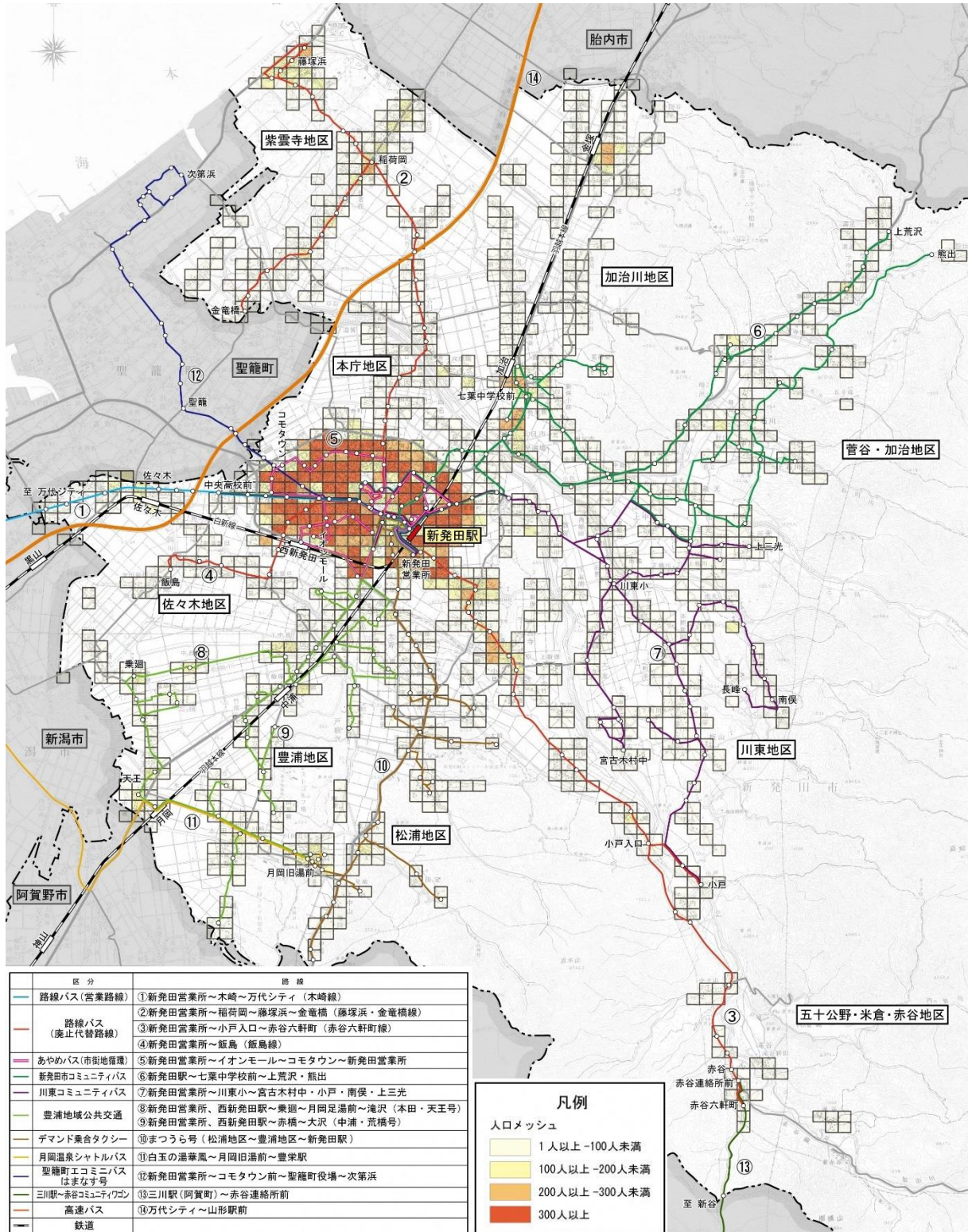


図 人口分布

出典：国勢調査(令和2年)

※250mメッシュ



## (2) 中心市街地の变化

中心市街地では、近年の車社会化、大型店の郊外出店などを背景として、人口減少の進行や、空き店舗の増加等による商業機能の低下など、空洞化が深刻化しています。

一方で、平成 18 年には県立新発田病院、リウマチセンターが新発田駅前に移転、平成 28 年には新発田駅前複合施設「イクネスしばた」がオープン、平成 29 年には、新市庁舎「ヨリネスしばた」が開庁し、中心市街地には多くの公共公益施設が立地しています。また、令和 2 年には大倉喜八郎の別邸「蔵春閣」の東公園への移築が開始され、観光や経済の活性化に向けた活用が期待されています。

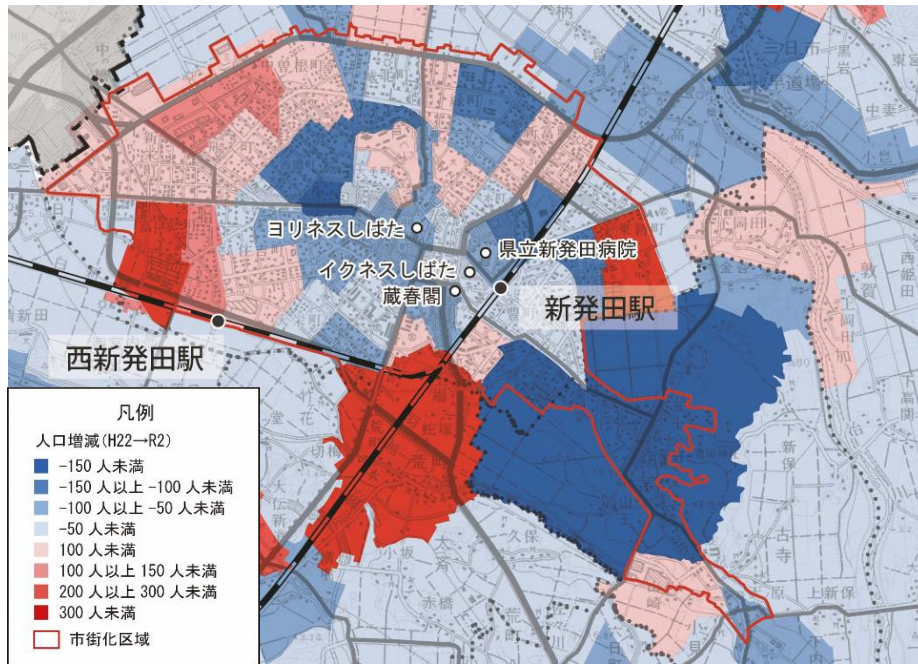


図 中心市街地の人口増減【H22→R2】

出典：国勢調査

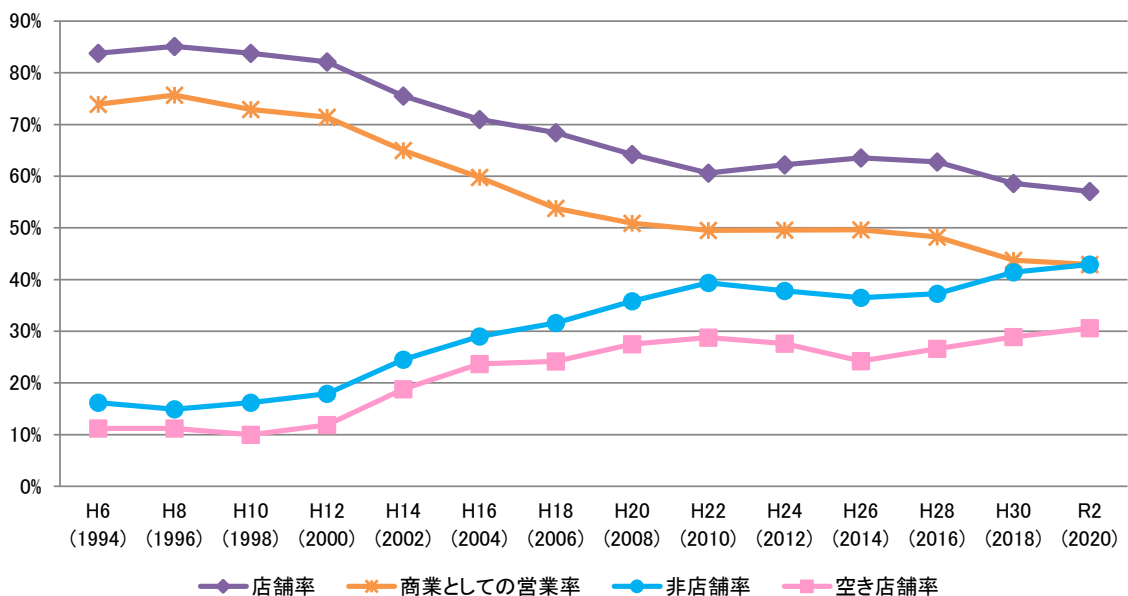


図 中心市街地商店街の店舗率の推移

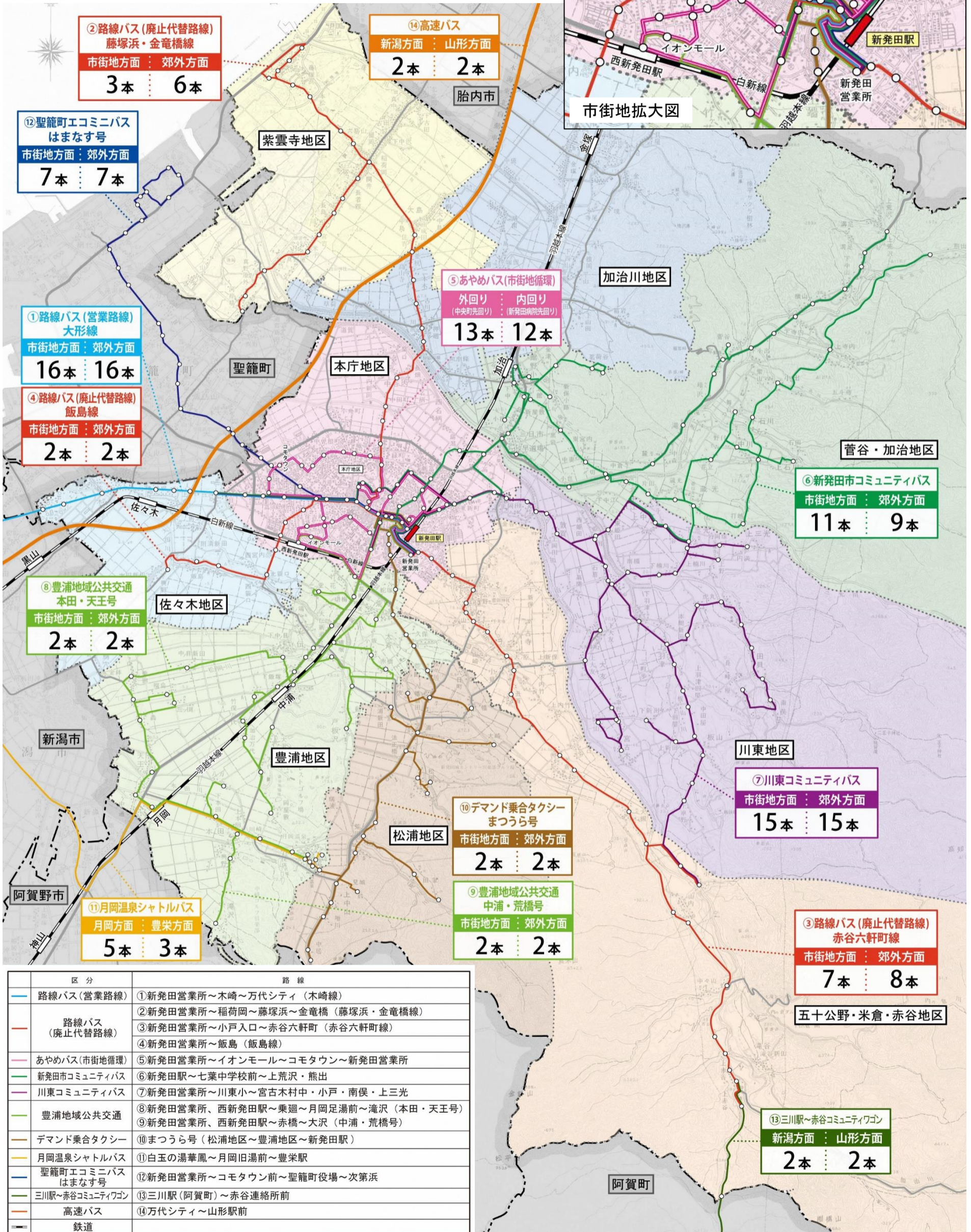
出典：新発田市都市計画マスタープラン（資料：新発田市空き店舗調査）



## 1.2 公共交通の現状

### (1) 公共交通網

新発田駅を中心として、バスや鉄道を含めて放射状に公共交通網が形成されています。





## (2) 鉄道

新津駅方面と村上駅方面を結ぶ羽越本線と、新潟駅方面を結ぶ白新線の2路線が運行しており、新発田市には7駅が立地しています。

新発田駅は、すべての路線の普通列車、特急列車の停車駅となっています。また、新発田駅前ロータリーは、鉄道とバスの乗継ぎ、バスからバスへの乗継ぎに利用される交通結節点となっています。

新発田駅の乗車人員は減少傾向にあり、令和3年度は2,970人/日となっています。路線別の平均通過人員は、令和2年度以降は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛の影響で大幅に減少しています。

表 鉄道の運行本数（平日）

路線	方面	駅	各駅停車本数（快速含）		特急列車本数		合計運行本数
白新線	新潟方面	新発田駅	新潟方面行	31本	新潟方面行	7本	76本
		西新発田駅	新発田方面行	31本	新発田方面行	7本	
		佐々木駅					
羽越本線	村上方面	新発田駅	村上方面行	21本	村上方面行	7本	54本
		加治駅	新発田方面行	19本	新発田方面行	7本	
	金塚駅						
	新津方面	新発田駅	新津方面行	11本	新津方面行	0本	
中浦駅 月岡駅		新発田方面行	13本	新発田方面行	0本		

出典：東日本旅客鉄道株式会社  
※令和4年8月25日時点

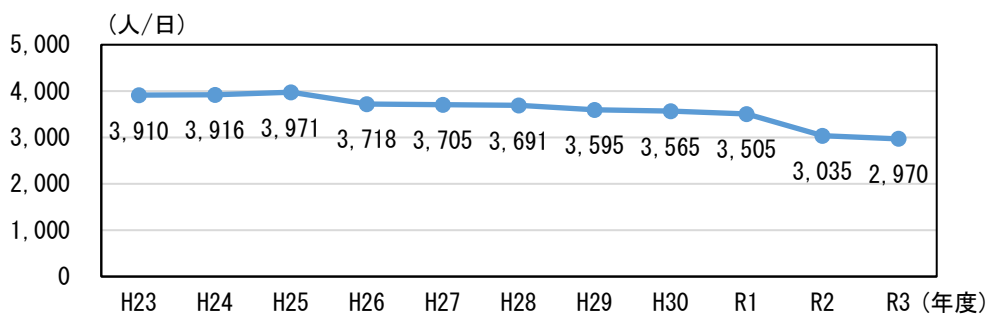


図 新発田駅の日平均乗車人員

出典：東日本旅客鉄道株式会社

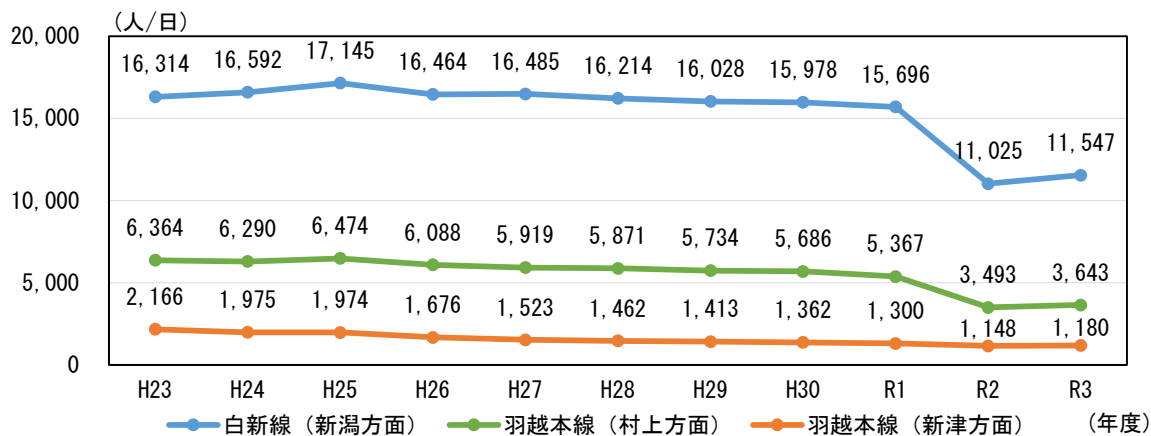


図 路線別の平均通過人員

出典：東日本旅客鉄道株式会社

### (3) 路線バス

路線バスは、通勤・通学の流動が多い新潟市方面や、五十公野・米倉・赤谷地区、紫雲寺地区といった鉄道駅のない地区で多く運行しています。

路線バスの利用者数は平成 24 年をピークに減少傾向にあり、令和 3 年は約 33.2 万人となっています。

表 路線バスの運行本数（平日）

区分	方面	路線	運行本数（平日）			備考
			新発田駅方面	郊外方面	計	
営業路線	新潟市方面	大形線	16 本	16 本	32 本	
廃止代替路線	五十公野・米倉・赤谷方面	赤谷六軒町線	7 本	8 本	15 本	
	紫雲寺方面	藤塚浜・金竜橋線	3 本	6 本	9 本	平日のみ
	佐々木方面	飯島線	2 本	2 本	4 本	平日のみ
計			28 本	32 本	60 本	

出典：新潟交通観光バス株式会社

※令和 4 年 8 月 25 日時点

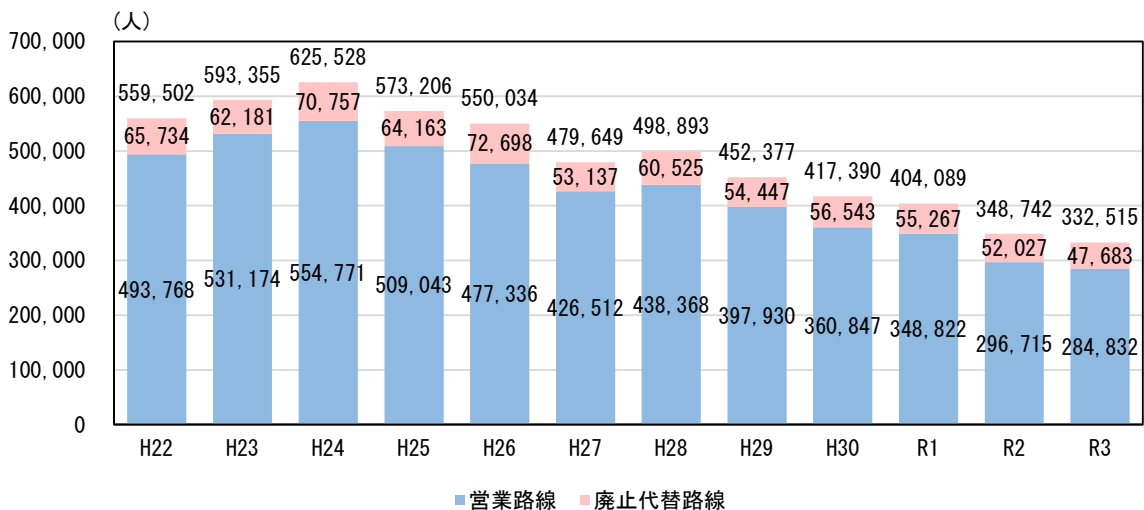


図 路線バス利用者数の推移

出典：新潟交通観光バス株式会社

※バス事業年度（9月から翌年10月まで）

#### (4) コミュニティバス・予約型乗合タクシー

##### ■あやめバス（平成 18 年 11 月運行開始）

中心市街地を循環するコミュニティバスで、新発田市役所「ヨリネスしばた」や主要な大型商業施設、県立新発田病院を経由して、「内回り」と「外回り」の双方向に運行しており、日中の買い物・通院等にあわせた運行時刻を設定しています。

##### ■新発田市コミュニティバス（平成 18 年 10 月運行開始）

菅谷・加治地区と中心市街地を結ぶコミュニティバスで、地域住民で構成される NPO 法人が運行を担っており、地域の利用ニーズに応じた柔軟な運行により、地域住民の通学・買い物・通院に利用されています。また、小・中学生のスクールバスとしての役割を担うとともに、高校生が各高校行きの便に乗換えることができる乗換拠点を整備し、通学しやすい環境が確保されています。

加えて、乗換えなしで市街地の目的地にアクセスできるよう、一部あやめバスに乗り入れています。

##### ■川東コミュニティバス（平成 26 年 4 月運行開始）

川東地区と中心市街地を結ぶコミュニティバスで、地域住民の通学・買い物・通院に利用されるとともに、小・中学生のスクールバスとしての役割も担っています。運行内容は、地域関係者で構成される組織が中心となって検討を進め、運行の見直しや利用促進を図っています。

川東小学校を乗換拠点として、地区内の各方面へ運行しています。また、乗換えなしで市街地の目的地にアクセスできるよう、一部あやめバスに乗り入れています。

##### ■豊浦地域公共交通（令和 3 年 10 月運行開始）

豊浦地区と中心市街地を結ぶように、コミュニティバスの「本田・天王号」と、予約型乗合タクシーの「中浦・荒橋号」が運行しています。中浦・荒橋号の一部便は、予約がなくても停留所を結ぶ基本ルートを実行し、予約があった場合は、その予約があった停留所を迂回して運行する定路線迂回型運行です。

##### ■松浦地区デマンド乗合タクシー「まつうら号」（令和 3 年 4 月運行開始）

松浦地区と中心市街地を結ぶ予約型乗合タクシーで、3 年間の実証運行を経て、令和 3 年 4 月から運行を開始しました。予約がなくても停留所を結ぶ基本ルートを実行し、予約があった場合は、その予約があった停留所を迂回して運行する定路線迂回型運行です。

##### ■菅谷・加治地区予約型バス（令和 3 年 8 月実証運行開始）

令和 2 年 7 月に実施したアンケート調査結果を踏まえ、地域内の買い物などにご利用いただけるよう、上荒沢方面、熊出方面、茗荷谷方面、打越方面と三日市周辺（ひらせい加治店や七葉コミュニティセンター）を結ぶ予約型バスを令和 3 年 8 月から実証運行しています。



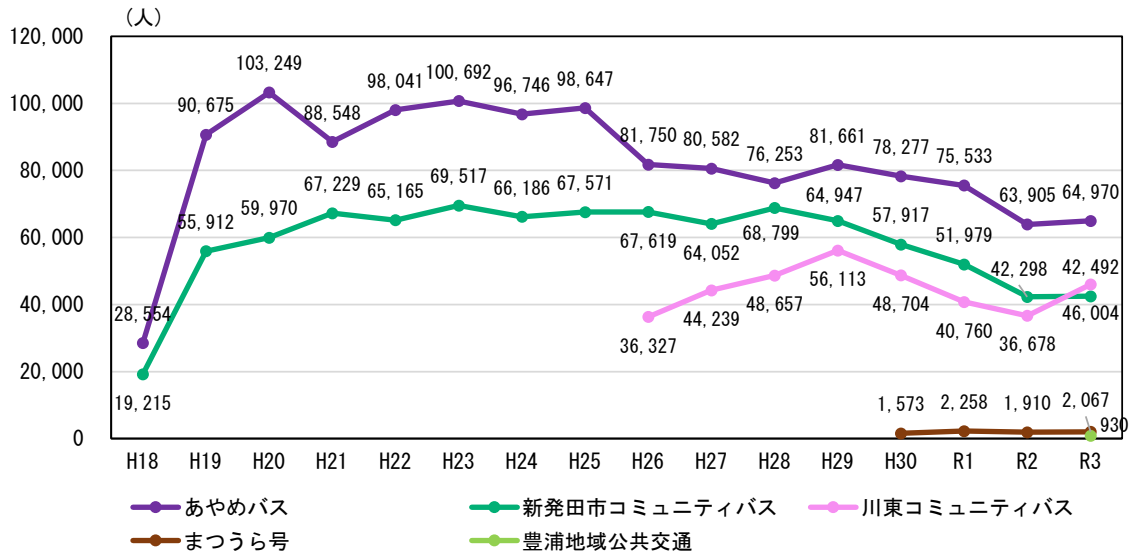


図 コミュニティバス乗車人数の推移

出典：新発田市

### (5) バス・乗合タクシーの運行に係る財政負担

令和3年度のバスの運行に係る新発田市の財政負担は約1.6億円となっており、平成20年と比較して増加しています。路線バスの廃止に伴いコミュニティバスや予約型乗合タクシーを導入しているため、財政負担額に占める路線バスの割合は年々減少し、コミュニティバスや乗合タクシーの割合が増加しています。

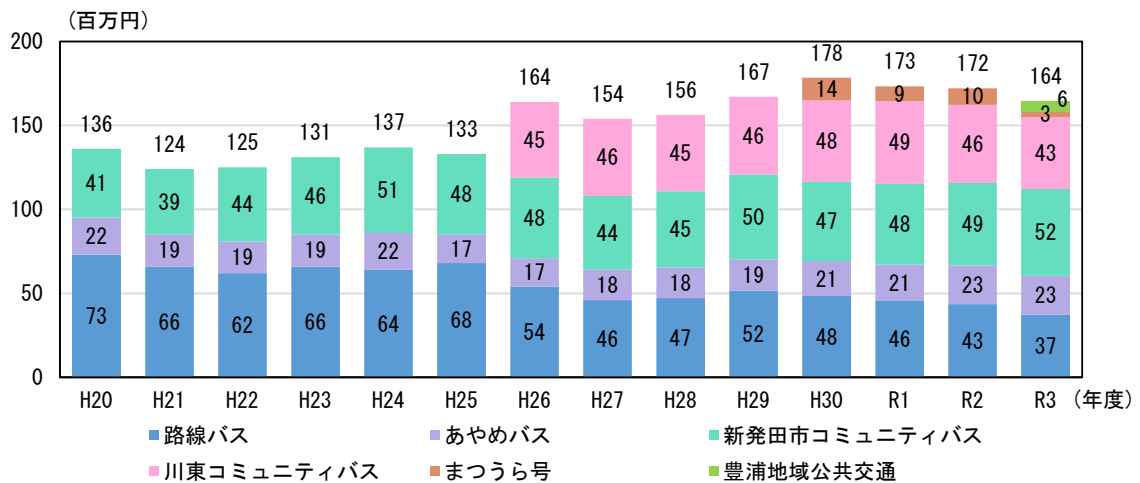


図 バス運行に係る財政負担

出典：新発田市

## (6) タクシー

新発田市にはタクシー事業者が3社あり、通常のタクシー車両に加え、ジャンボタクシーや福祉車両を導入している会社もあります。

表 市内の新潟県ハイヤー・タクシー協会の加盟会社と保有台数

	ジャンボ	大型	中型	小型	福祉
株式会社下越タクシー	2	0	0	21	1
新発田観光タクシー株式会社	1	0	0	22	2
太陽交通新発田中央株式会社	1	0	0	17	0

出典：一般社団法人新潟県ハイヤー・タクシー協会